

2016年 春季大会(目白大学)

形態	タイトル	発表者	掲載頁
パネルセッション	表現活動, エンゲージメント, 日本語の習得と教育	西口光一(大阪大学), 森篤嗣(帝塚山大学), 岡崎洋三(大阪大学), 三代純平(武蔵野美術大学)	19-29
パネルセッション	日本語教師の創造と学びの道のり—教授法・アプローチを超えて—(大会委員会企画パネル)	俵山雄司(名古屋大学), 池田玲子(鳥取大学), 川口義一(早稲田大学名誉教授), 春原憲一郎(京都日本語教育センター), 山本弘子(カイ日本語スクール)	30-41
パネルセッション	「手話」をめぐる4つの落差—日本語教育への示唆—	佐々木倫子(桜美林大学名誉教授), 岡典栄(明晴学園), 森田明(同), 佐藤啓子(亜細亜大学)	42-53
パネルセッション	日本語音声教育の現状と課題—アクセントの教育を中心に—	磯村一弘(国際交流基金), 阿部新(名古屋外国語大学), 林良子(神戸大学), 柴田智子(米国・プリンストン大学), 峯松信明(東京大学)	54-65
パネルセッション	質的研究方法の再検討—リフレクティブな視点から—	中山亜紀子(佐賀大学), 八木真奈美(駿河台大学), 中井好男(同志社大学)	66-77
パネルセッション	文語文を素材とした日本語・日本文化教育	佐藤勢紀子(東北大学), 虫明美喜(東北福祉大学), 楊錦昌(台湾・天主教輔仁大学), 小野桂子(米国・プリンストン大学)	78-89
パネルセッション	教育理念と現場実践をつなぐ—CEFR教師研修支援用教材の開発を例に—	奥村三菜子(元・環太平洋大学短期大学部), 鈴木裕子(スペイン, マドリッド・コンプルテンセ大学), 櫻井直子(ベルギー, ルーヴァン・カトリック大学)	90-100
パネルセッション	二言語から多言語へ—第二言語としての日本語の習得研究・教育のこれからを考える—	森山新(お茶の水女子大学), 向山陽子(武蔵野大学), 長友和彦(台湾・大葉大学)	101-113
口頭発表	キャラクターを設定した友だちことばを学ぶための日本語会話教材作成と授業実践—授業事前事後で友だちことばに対する自己効力とその産出能力はどのように変化するか—	酒井彩(お茶の水女子大学), 高木祐輔(一橋大学大学院生)	117-122
口頭発表	個人の経験を社会・変革・未来へつなげる実践を目指して—ナラティブを教材化する試み—	八木真奈美(駿河台大学)	123-127
口頭発表	オーディオブックを用いたジグソー学習の試み—説明活動の実際と学習者の振り返りから—	近藤行人(名古屋学院大学)	128-133
口頭発表	初級レベルから始める俳句学習—対話重視の教育実践—	嶋田和子(アクラス日本語教育研究所), 落合知春(イーストウエスト日本語学校), 森節子(同)	134-139
口頭発表	比べ読みを軸にした絵本の翻訳活動—韓国の大学生の気づきに着目して—	小松麻美(韓国・蔚山大学)	140-145
口頭発表	真正性のある接触場面会話コーパスを用いた話題特徴語の抽出—ポップ・カルチャーの場合—	中俣尚己(京都教育大学)	146-151
口頭発表	日本語コーパスの文章難易度に関する大規模調査の報告	李在鎬(筑波大学), 長谷部陽一郎(同志社大学), 久保圭(大阪大学)	152-157
口頭発表	ブラジル・ポルトガル語を母語とする日本語学習者の結果残存のテイルの使用傾向に関する一考察	TOFFOLI Julia (一橋大学大学院生)	158-163
口頭発表	第二言語産出における慣用句の回避現象—認知度と透明度に着目して—	陳雯(筑波大学大学院生)	164-170
口頭発表	「考えること」から学習者は何を学ぶのか—中級レベルにおける言語運用能力育成の試み—	滝井未来(大阪大学)	171-176

口頭発表	漢字学習における学習者主体の誤りの分析—「セルフ・フィードバック」がもたらすもの—	秋山麻衣耶(立命館アジア太平洋大学), 林亜友美(早稲田大学大学院生)	177-182
口頭発表	非漢字系学習者の漢字の字形認識を困難にする要因—マレー人学習者に対する再生実験の分析をもとに—	谷口美穂(元マレーシア・マラヤ大学)	183-188
口頭発表	音符を学ぶことは音符を含む漢字を覚えることに貢献するか	萩原章子(国際基督教大学)	189-194
口頭発表	初級日本語学習者に対する説明における母語話者のコミュニケーション方略—接触経験とタスクの形式の影響に焦点を当てて—	安藤郁美(名古屋大学大学院生)	195-200
口頭発表	韓国人日本語学習者の習得レベル別にみた「共話的反応の型」の使用実態	李舜炯(首都大学東京大学院生)	201-206
口頭発表	初対面の雑談相手に向けられる日本語学習者の直接的な否定表現—日本語母語話者との比較から—	中野陽(大阪府立大学大学院生)	207-212
口頭発表	ビジネス日本語の学習意識に関する調査—ビジネス経験の有無による違いに着目して—	吉陽(筑波大学大学院生), 井上里鶴(同), ショリナ・ダリヤグル(同), 孫思琦(同), 小野塚若菜(東京学芸大学)	213-218
口頭発表	JFLからJSLへ移行する際の教師の指導法と役割上での必要な対応についての考察	根岸慎(米国・北アリゾナ大学), 札野寛子(金沢工業大学)	219-224
口頭発表	日本文化イベント・日本語イベントに関する基礎研究—海外経験教師の自由記述データと捕獲率を用いた分析から—	高嶋幸太(立教大学), 鶴岡聖未(日本大学大学院生)	225-230
口頭発表	『ヨーロッパ言語教育政策策定ガイド』が「日本語教師」に拓く一連の課題	山本冴里(山口大学)	231-236
口頭発表	外国人介護福祉士の需要拡大に向けて—介護系学科への聞き取り調査と教育実践から—	三橋麻子(明海大学), 丸山真貴子(同), 堀内貴子(東京成徳大学)	237-242
口頭発表	EPA看護師・介護福祉士候補生を対象とした遠隔教育におけるコメントの役割	橋本洋輔(国際教養大学), 佐野ひろみ(同), 中川健司(横浜国立大学), 角南北斗(フリーランス), 齊藤真美(カナダ・アルバータ州教育省), 布尾勝一郎(佐賀大学), 野村愛(首都大学東京)	243-248
口頭発表	候補者にとって有効的な介護の専門日本語教育支援とは何か—集合研修でのアンケートとヒアリング調査を通して—	神村初美(首都大学東京), 西郡仁朗(同)	249-254
口頭発表	定住外国人の求職・就労に関わる意識調査—外国人就労定着・支援研修の受講者を対象に—	渡部裕子(日本国際協力センター)	255-260
口頭発表	「俺もこう色々…俺も変わってるし」—青年期の学習者の「想像の共同体」変容に関わる要因—	米本和弘(東京医科歯科大学)	261-266
口頭発表	外国人児童・生徒のアクティブラーニングと日本語教育を通じた学校と地域を結ぶ「建設的相互作用」—横浜市内の国際交流ボランティア団体を事例として—	矢澤誠弘(帝京大学大学院生)	267-272
口頭発表	大正期のメディアに於ける日本社会と外国人の日本語について—『東京朝日新聞』を中心に—	酒井順一郎(九州産業大学)	273-278
ポスター発表	どのように対話が生まれる・つくられるのか—留学生と日本人ボランティアによるグループ対話活動実践から見たこと—	岡田亜矢子(早稲田大学大学院生)	281-282
ポスター発表	課題解決型オンライングループ活動を通じた新たな交流型授業の提案—ICTを活用した韓国協定校との遠隔協働学習—	鄭惠先(北海道大学), 平山花菜絵(北海道大学大学院生)	283-284
ポスター発表	TAEIによる日本語教師の振り返り—10年目の節目に—	得丸智子(開智国際大学)	285-286

ポスター発表	現職教員研修に日本語教育研究者はいかに貢献できるか—学校教員と外国人保護者のコミュニケーション上の問題を巡って—	浜田麻里(京都教育大学)	287-288
ポスター発表	日中協働運営による海外のラウンドテーブル型教師研修におけるコーディネーターの学び	朱桂榮(中国・北京外国語大学), 池田広子(目白大学), 半原芳子(福井大学), 宇津木奈美子(帝京大学)	289-290
ポスター発表	日本語教員を対象としたケース教材の開発—話し合いを活性化させる要因の分析—	宮崎七湖(新潟県立大学), 江後千香子(早稲田大学), 高山幸巳(城西大学), 田中敦子(慶応義塾大学), 寅丸真澄(東京外国語大学), 中山由佳(早稲田大学), 江森悦子(元アークアカデミー)	291-292
ポスター発表	視覚障害学習者に日本語を教える教師の学習者理解に向けた支援—教師用ハンドブック『あじわう日本語』の作成—	河住有希子(日本工業大学), 浅野有里(日本国際教育支援協会), 北川幸子(神田外語大学), 藤田恵(立教大学), 秋元美晴(恵泉女学園大学)	293-294
ポスター発表	工学系留学生が就職後の自分を考えるための読み物教材の開発	アブドウハン恭子(九州工業大学), 上野まり子(同)	295-296
ポスター発表	ベトナム中等教育における日本語クラス選択要因に関する調査	中園麻里子(元ベトナム日本文化交流センター)	297-298
ポスター発表	海外の日本語授業の教室における自発的発話に関する質的研究—メキシコの教室を事例にして—	仁谷沙耶香(北陸大学)	299-300
ポスター発表	EPAIに基づく介護福祉士候補者は国家試験受験に至る体験過程をどう捉えたか—インタビューデータの分析結果から学習支援者ができることは何か—	武内博子(首都大学東京大学院生)	301-302
ポスター発表	タスク中心の教授法によるニーズ分析例—米国政府外交官の場合—	ヒルマン小林恭子(米国・メリーランド大学大学院生)	303-304
ポスター発表	中国語学習を経て日本語学習を始める, 非漢字圏学習者に必要な漢字学習とは—インタビュー調査と, 漢字力診断テストの結果から示唆されること—	前原かおる(東京大学), 増田真理子(同), 渡部みなほ(同), 河内彩香(同), 藤田朋世(同), 菊地康人(同)	305-306
ポスター発表	中国人日本語学習者のあいづちのバリエーション習得研究—来日留学生の経時的調査を通して—	関玲(筑波大学大学院生)	307-308
ポスター発表	「やさしい日本語」によるニュースのテキスト分析—「やさしい日本語地域ニュース」と NEWS WEB EASY の語彙に注目して—	世良時子(成蹊大学), 根本愛子(国際基督教大学), 細井陽子(山野日本語学校)	309-310
ポスター発表	ライティング・ワークショップの実践と評価—留学生別科生を対象として—	田中信之(富山大学), 浅津嘉之(同志社大学)	311-312
デモンストレーション発表	文字認識・音声認識機能のついたゼロビギナーのためのかな習得支援アプリの開発	竹内明弘(国際大学), 倉品さやか(同)	315-316
デモンストレーション発表	「幼稚園・保育園の連絡帳を書こう!」—外国出身保護者のための支援サイトの開発—	内海由美子(山形大学), 澤恩嬉(東北文教大学短期大学部), 薄井宏美(山形大学)	317-318
デモンストレーション発表	第二言語教育における暗黙的知識の習得メカニズム—オノマトペのE-learningシステムの構築に見えた可能性—	李曉燕(九州大学)	319-320
デモンストレーション発表	アソシエーション法を使った仮名学習アプリ「HIRAGANA/KATAKANA Memory Hint」	熊野七絵(国際交流基金), 川嶋恵子(同)	321-322
デモンストレーション発表	日本語テキスト内容理解問題の自動生成システム	後藤大明(長岡技術科学大学大学院生), 山本和英(長岡技術科学大学)	323-324
デモンストレーション発表	国内外で学ぶ日本語学習者の自律的な発音学習を促すオンデマンドコンテンツ	戸田貴子(早稲田大学), 大久保雅子(東京大学)	325-326